

IME システム辞書の作成要領

《 IME2010 》

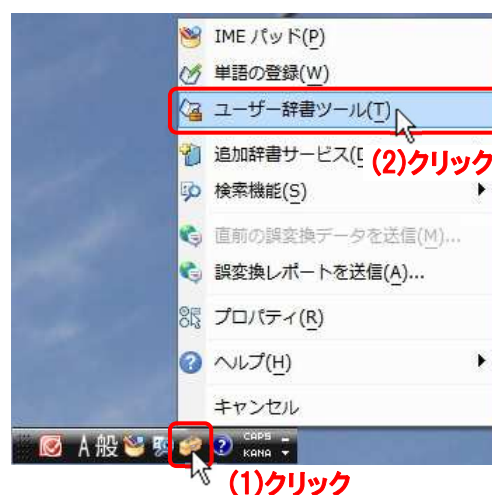
■ ユーザー辞書ツールを使ったシステム辞書の作成 ■

IME の「ユーザー辞書ツール」を使ってシステム辞書が作成できます。

「ユーザー辞書ツール」は IME98 から最新の IME Ver15 まで基本的に変わっていません。
IME2010 の「ユーザー辞書ツール」を例に辞書用テキストデータを読み込み、システム辞書を作成する要領を説明します。

「ユーザー辞書ツール」を開きます。

- (1) 「言語バー」の [ツール] をクリックし、
- (2) 「ユーザー辞書ツール(T)」をクリックします。



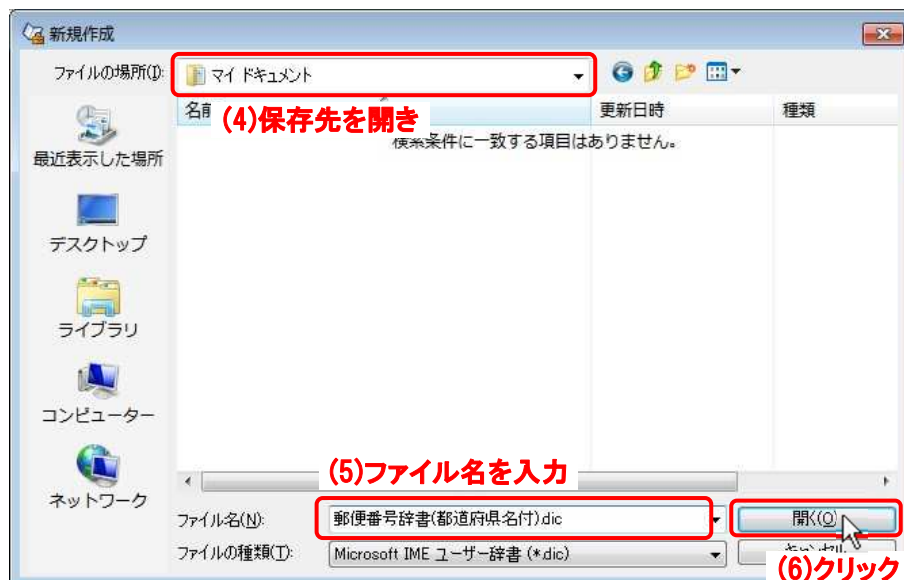
「ユーザー辞書ツール」が開いたら、

- (3) [新規作成] ボタンをクリックします。

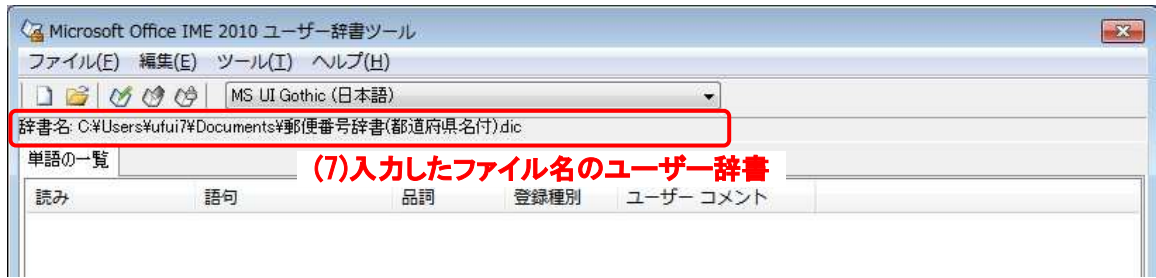


「新規作成」が出たら、

- (4) ユーザー辞書を保存するフォルダ (例: マイドキュメント) を開き、
- (5) 「ファイル名(N)」欄に適切なファイル名を入力、
- (6) [開く(O)] ボタンをクリックします。

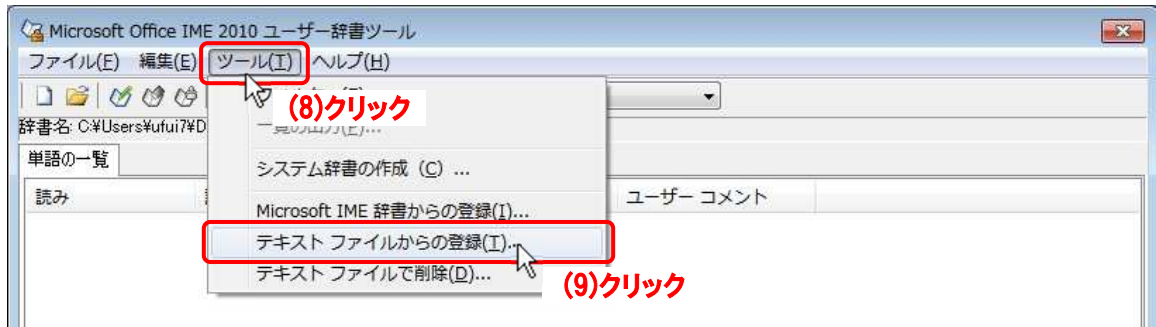


(7) 入力したファイル名のユーザー辞書が作られます。



(8) [ツール(T)] をクリックし、

(9) [テキスト ファイルからの登録(T)] をクリックします。

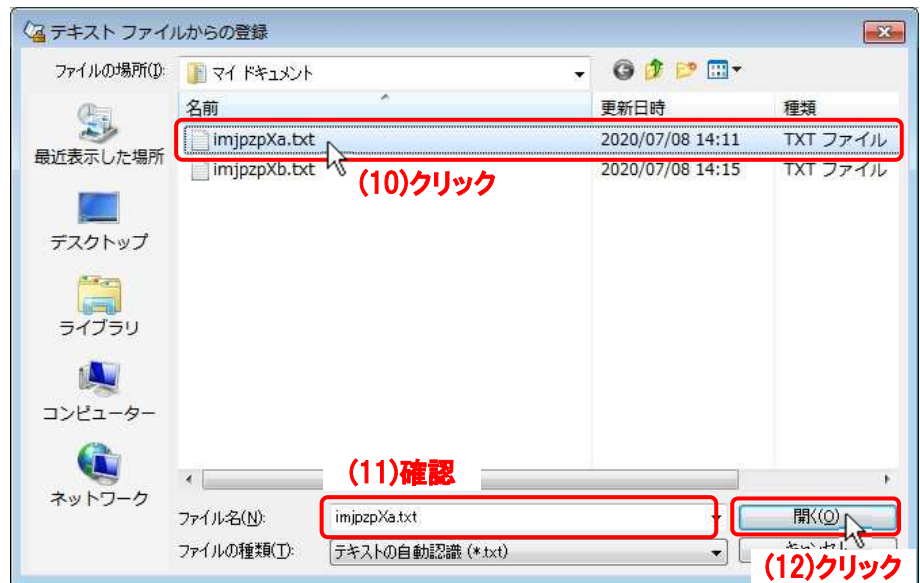


「テキスト ファイルからの登録」が出るので、

(10) 解凍済みの辞書テキスト
データを選択し、

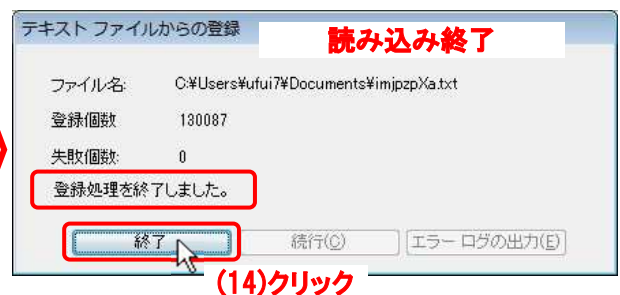
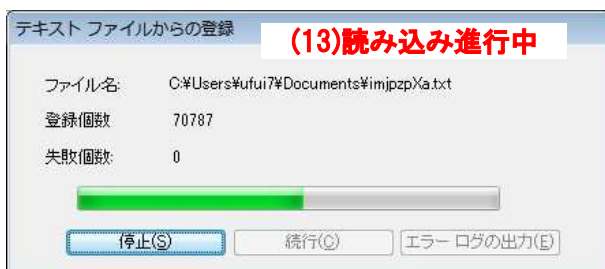
(11) 「ファイル名(N)」にセ
ットされているのを確認
し、

(12) [開く(O)] ボタンをクリ
ックします。



(13) テキストデータの読み込みが進行し、

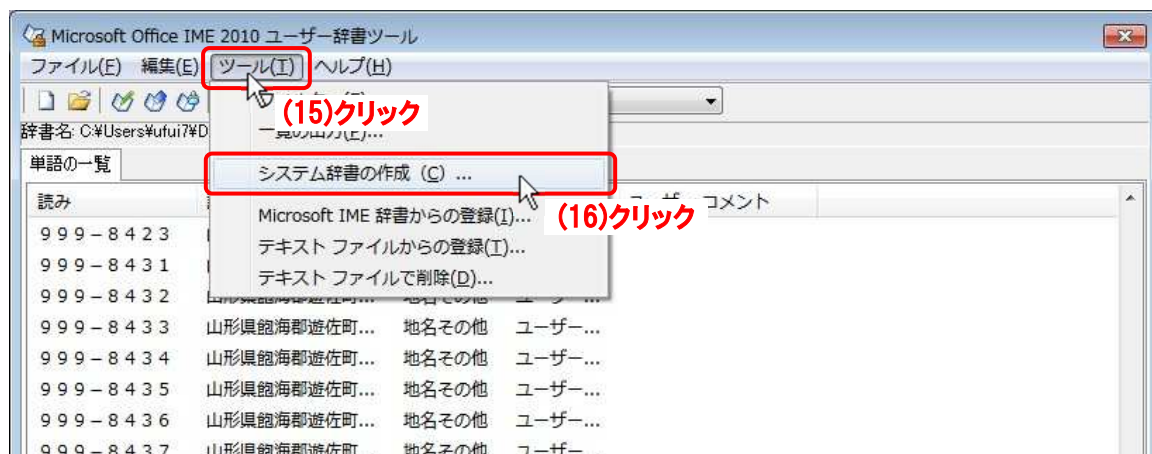
(14) 「登録処理を終了しました。」が出たら、[終了] ボタンをクリックします。



システム辞書の作成へ進みます。

(15) [ツール(T)] をクリックし、

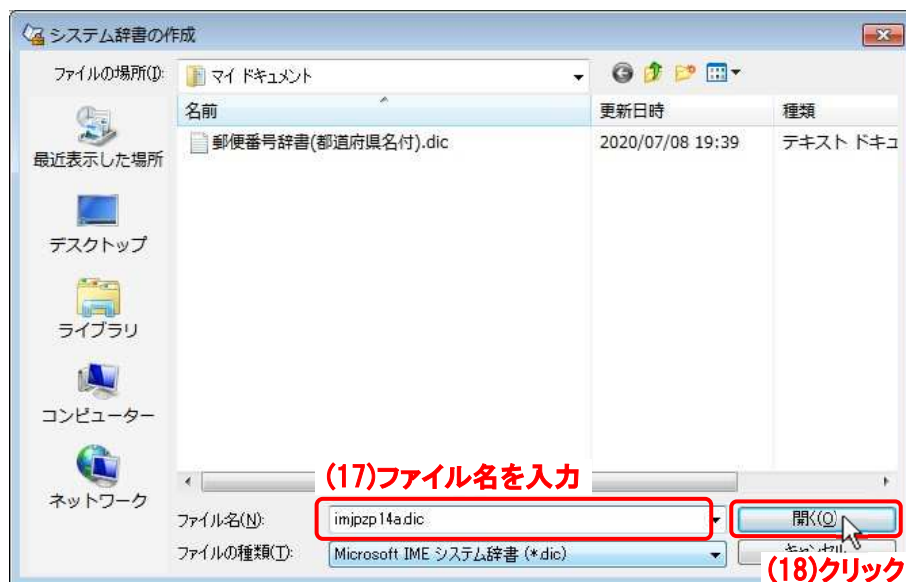
(16) [システム辞書の作成(C)] をクリックします。



「システム辞書の作成」が出るので、

(17) 「ファイル名(N)」欄にシステム辞書のファイル名を入力、

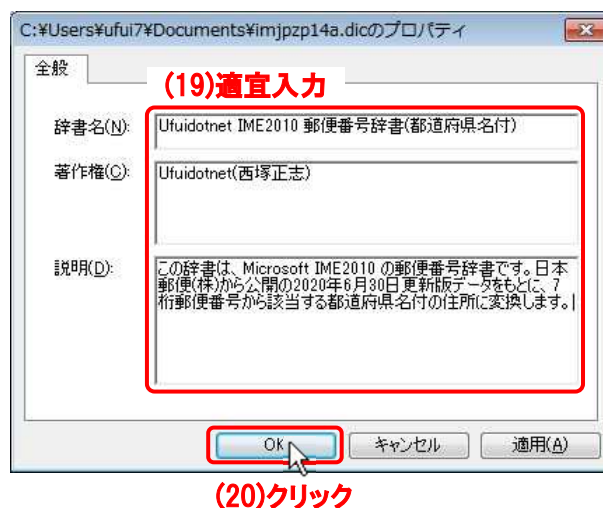
(18) [開く(O)] ボタンをクリックします。



「(入力したファイル名).dicのプロパティ」が出るので、

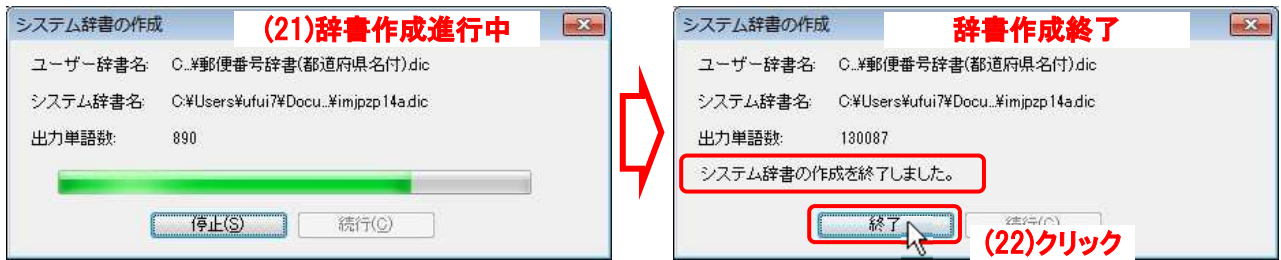
(19) 「辞書名(N)、著作権(C)、説明(D)」の各欄を適宜入力し(入力しなくても作成されます)、

(20) [OK] ボタンをクリックします。



(21) システム辞書の作成が進行し、

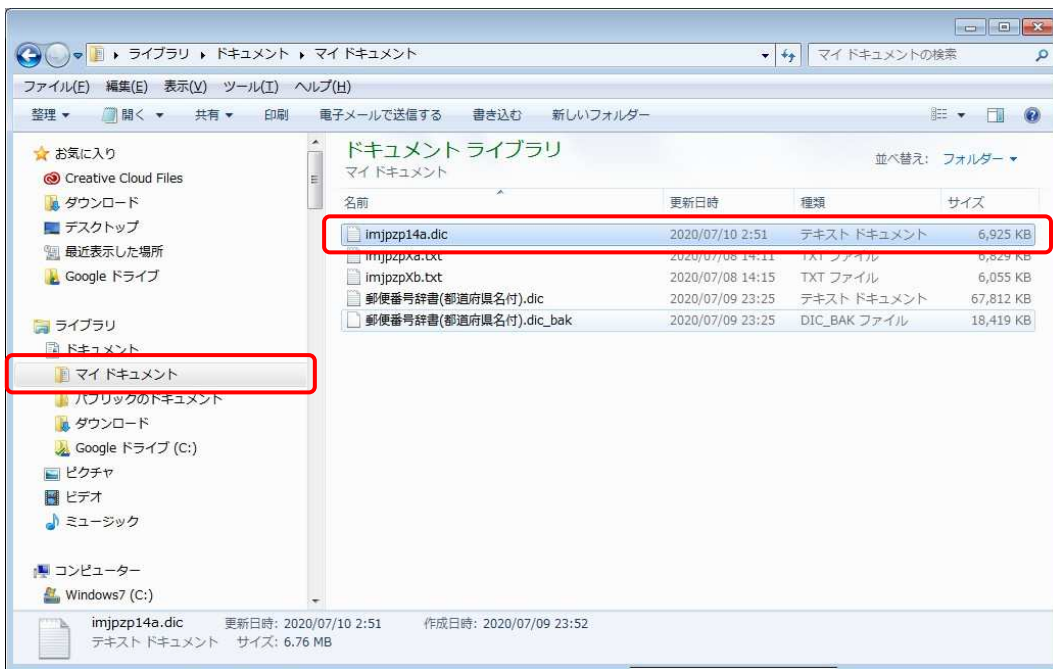
(22) 「システム辞書の作成を終了しました。」が出たら、[終了] ボタンをクリックします。



(23) システム辞書の作成が完了したので、「ユーザー辞書ツール」は[×] をクリックして閉じます。



(24) 完成したシステム辞書は、ファイルエクスプローラでデータを保存したフォルダ〔(4)で指定したフォルダ、例：マイドキュメント〕を開くと確認できます。



※ 辞書用テキストデータからシステム辞書を作成する時間について、Ufuidotnet の IME 辞書（約 13 万語）ではおおまかに以下ようになります（コンピュータ、Windows の状態により大きく変化します）。

IME のバージョン	テキストデータの読み込み	システム辞書の作成	システム辞書作成時間(合計)
IME Ver15 (Win10, 8, 8.1)	40 分～1 時間	40 分～1 時間	1.5～2 時間
IME 2010	50 分～1.5 時間	45 分～1 時間	1.5～2.5 時間
IME Ver10 (Win7, Vista)	3 分～25 分	3 分～25 分	6 分～50 分
IME 2007	1 時間～1.5 時間	1 時間～1.25 時間	2～2.75 時間

以上、IME システム辞書作成終了。